

2008年1月
第21号

今年もどうぞよろしくお祈りします。

伊能忠敬といえは、江戸時代に日本地図を作った事で歴史の教科書にも出てくるほど有名な人物。忠敬は一七四五年に生まれ、十七歳の時、現在の千葉県佐原の伊能家に婿養子に入る。酒、醤油の醸造などを営み、商人として才覚をふるい、伊能家を再興した。一七九四年、五十才の時に隠居し、家督を長男・景敬に譲った後、江戸に出て江戸幕府の天文方に師事、測量・天文観測を学ぶ。五十五才にて、第一次測量を開始、以後第十次測量まで日本全国を回り七十三才にて逝くが、その志は幕府からも認められた。

伊能忠敬の生き方は生涯学習の一つのモデルケース

伊能忠敬のご子孫 伊能譲さんインタビュー

青葉台に住んで五十余年 自然豊かな環境を 次世代にも受け継いで!

江戸時代の測量家・伊能忠敬の直系ではないが、七代目に当たる伊能譲さん。現在は青葉台にお住まいだが、伊能忠敬について、また、ご自身のお仕事などについてお話を伺った。



測量技術も極めて高度なものであった事から、徐々に幕府からの支援も強化され、国家的事業に育っていったという。伊能譲さんは、忠敬の直系ではないが一族のお一人。現在、青葉台にお住まいだが、祖父の代まで佐原で暮らしていたという。忠敬については「五十才から天文学・測量学

を学び、五十五才から全国の測量を志した忠敬ですが、江戸時代、五十才といえは、かなり高齢だったと思います。現在、定年後の人生、リタイヤされた方が何かに打ち込み、第二の人生を歩む生涯学習などが注目されていますが、この忠敬の生き方は、ある意味で一つのモデルとして最近注目を浴びているように思います」と語る。

一日十キロウォーキング

伊能さんは来年で七十才になるとの事。ご自身のお仕事は、東大を卒業後、先輩の五島慶太氏の声掛けで東急のホテル事業に携わる。当時は高度成長期、アメリカに渡り、外国のホテルサービス・経営についても学び、近代ホテルの先駆けとなる、銀座東急ホテルを立ち上げた。退社後はいとこが経営する機械商社の仕事にも携わったとの事。

若いころからスポーツが得意で、昭和三十三年、東大に入り東大野球部で活躍。入学した年には立教の長嶋は卒業したので入れ替わりにはなったが、当時六大学は大人気だった。四年生の時はキャプテンも務め、セカンドを守り活躍したという。現在でも、趣味はゴルフとウォーキングというスポーツマン。毎日、一日十キロは歩くという。一キロ約十分で歩くというから、かなりの速歩。これは日本全国を歩いた忠敬の健脚にも通じているかもしれない。

伊能忠敬 MEMO

- 174年：千葉県、九十九里町の名主の家に生まれる
- 176年：香取市佐原の伊能家に婿養子に入る
- 179年：50才で隠居、江戸に出て幕府の天文方・高橋至時に師事。
- 180年：55才で第一次測量を開始。10次まで測量
- 1818年：73才で死去（喪を秘す）
- 182年：「大日本沿海輿地全図」完成（喪を公表）

GT全館避難訓練 759人が参加

年末を控えた1月20日目黒消防署さんが見守る中、本年2回目の全館避難訓練を実施しました。タワー棟、ハイツ・テラス棟、商店の関係者など759人が参加。



GT避難訓練、759人がタワー前広場に集合



屋内消火栓による放水訓練

このマークを見かけたことはありますか?「ワーカーズ・ファースト」とは、中目黒GTタワーを管理する三井不動産ビルマネジメント(株)のオフィス管理の基本理念です。~働く人(オフィスワーカー)にとって、安心して快適であることを第一(ファースト)に考える~。管理スタッフ一人一人がその思いを同じくして日夜努力しております。



中目黒スイーパーズ



清掃ボランティアの皆さん

愛称「中目黒スイーパーズ」でお馴染みの中目黒駅周辺ボランティア清掃活動が始まって今年で五年目に入りました。お陰で、タバコのポイ捨ても、半減? 目黒区役所の呼びかけで、中目黒駅周辺ボランティア清掃活動が始まったのは、

二〇〇三年十一月。中目黒駅周辺の企業の皆さんで出来た協力の輪も益々強固なものになってきています。タワー棟テナントの皆さんの参加による毎月、第二月曜日の「合同清掃の日」も定着しました。一方、昨年十一月から「歩行喫煙禁止区域モデル指定」を受けた中目黒駅周辺では、町会の皆さんが中心となり、「歩行喫煙禁止駅頭キャンペーン」を同時にスタートしました。現在は、昨年の九月から休止しています。引き続き二月まで休止し、三月以降の活動の是非を検討することになっています。



目黒区職員写真部の作品展

GTギャラリー カレンダー
井上裕士写真展
一月十五日〜二十九日
仏像彫刻 木彫刻写真展
二月十八日〜三月三日
日景祐「詩書展」
三月十九日〜四月二日

GTギャラリー

十一月五日から二十六日まで、「税理士仲間の写真展」が開催され会員の皆さん自慢の一点が出品。賑やかでした。十一月二十七日から十二月十日までは、「東山フォトクラブ写真展」、そして続いて十日から二十五日までは「目黒区職員写真部展」とそれぞれ一味違う(?)写真展が続きました。

関係者の皆様へ!
平成二十年「GT賀詞交歓会」を左記の日程で開催します。
日時 一月八日(火)
午後四時十五分〜六時
会場 GTプラザホール
午後三時三十分から四時まで、GT新春イベントとして「ニコイヤー・コンサート」(アマビレ・ピアノトリオの皆さんによるクラシックコンサート)を開催します。
新年にふさわしい曲目が用意されています。ぜひお出かけください。

編集後記

毎年のことですが、年が暮れ明けの頃に特に人の口に上るもの、十二支の干支があります。今年の干支は十二支のトップバッター「鼠」。子丑寅卯辰巳...の順番は、神様のもとに新年の挨拶に来た順番だそうです。足が遅いので早めに出た牛が一番に着きましたが、鼠はその牛の頭の上ののっぺりして、牛の前に飛び降り一番になったそうです。
GTニュースも今号で二十一号。因みに、創刊号の出た年の干支は「未」でした。初めて書いた編集後記。これからも楽しい情報が提供できるよう頑張ります。



グランプリに輝いたユニークなツリー



G T賞を受賞 中目黒小の子供たちの作品

三点に及ぶ応募がありました。グランプリを射止めたのは大杉哲也・伊藤友隆ペアの作品で、紅葉した銀杏の葉を一面に散りばめた中のツリーが選ばれ、目黒区長賞には、斉藤和土さんの作品が選ばれました。

また、特別出展された平山隆也氏のツリーが、多くの皆さんに注目されました。



キャンデルの柔らかい光の中で
コンサート



ローソクづくりを楽しむ
親子連れ

百万人の
キャンデルナイト
in 中目黒
あかりまつりのメインイベント。



十二月二十二日、夜六時半から大階段においてローソクの光の中でコンサートが行われ、ロマンチックな時間が過ぎていきました。



華やかなアマビレ弦楽トリオにピアノの共演

アマビレ
弦楽トリオ
G Tクラシック

十一月十五日の夕べ、G Tプラザホールで、

クリスマス ライブコンサート 12月14日 ~ ラテンロック調で傷歌尊塾が熱演 ~

今年のクリスマスには、ラテンロックグループ「傷歌尊塾」の皆さんのご協力により新しい趣向のコンサートが企画出来ました。タワー棟テナントの皆様を対象に、退社時のエントランスロビーでラテンロックバンドによる、シングルベル、ホワイトクリスマス、ボラーレなどクリスマスの雰囲気たっぷりの演奏をご堪能いただきました。



クリスマスソングを
ラテンロックで演奏

G T広場のステージでは、地元、目黒銀座の「よさこい踊り」が披露され、会場内の皆さんに、「元氣」を振りまかれていました。



生憎の雨にもかかわらず大勢の人出で賑わう

めぐろ 地域福祉の つどい

昨年引き続き、目黒区社会福祉協議会主催の第四回めぐろ地域福祉のつどいが十一月十日雨の降る中、プログラムを一部変更し、予定どおり開催されました。

ペンリレー 「知らずに使っているかも!？」

G Tタワーのテナントを紹介するこのコーナーも6回目となりました。今回は(株)寺島情報企画にご寄稿いただきました。

あつたそつだが、今は、その自然は貴重な時代になってしまった。「街はバランスが大切ですね。住みやすい点では現在、中目黒は便利ですし、自然もあります。ぜひともこの自然を子どもや孫の世代まで、しっかりと受け継いでいけたら」という。中目黒G Tには、買い物や銀行などで良く出向かれるとの事。お孫さんの幼稚園の送り迎えをなさる事もあるだけに、次世代への住環境や自然のバトンタッチをしっかりと考えていこうという。



東京でも本当に環境の良いエリアですので、ぜひとも開発だけでなく、環境の保全も考えていってほしいと思います」と語る。

GT冬のイベント GT 6回目のクリスマス!

今年もGTのそこそこに、柔らかな光に溢れた幻想的な空間が広がり、オリジナリティー満載のクリスマスツリーがGTを飾りました。

イルミネーション
昨年の十一月から、来る一月十三日まで長期間にわたりタワー棟前広場の樹列帯にはイルミネーションが飾られ、



樹列帯のイルミネーションと妖精たち

タワー棟ロビー壁面には大きな影絵を映し出しました。
古代の行列
十一月十日から二十四日まで、G T広場などあちらこちら



「私のクリスマスツリー展」表彰式

私のクリスマスツリー
オリジナル溢れるアーティスティックなツリーや生け花、盆栽仕立てのツリーなど三十

先日、「階ロビー」の案内板を見ていたところ、社名のすべての文字に漢字が使われているのは当社のみだということに気づきました。数年前私が初めて、寺島情報企画」という社名を聞いた時は、スーツ姿のおじさんが汗を拭きながら黒電話で誰かを怒鳴りつけている」という、男性的で古風な光景を想像しました。皆さんはどのような印象を受けますか?



株式会社寺島情報企画
横田大吾

運営サイトは「デコメール」の力で最大の会員数を持つ公式サイト「デコメール」放題、女子中高生に大人気の「デコメール」、「占マイペ」、ケアケア公式サイト、「ケアケアフレズ」、着うたサイト、「うたJETS」!!「テレうたマイペ」など、多岐にわたり、全サイトの会員数は二百万人を超えております。

実際の当社は、携帯電話向けWebサイトを運営するコンテンツ事業と「コンテータ・コミュニケーション」の総合情報誌、「DTMマガジン」を発行する出版事業を中心に事業を展開しており、男女比46、平均年齢20代半ばの活気あるイマドキの会社です。和やかな雰囲気の中、人に感動を与えるコンテンツ、人の生活を変える最新技術やサービスを